

みなまた あしきた

水俣・芦北地域の教育旅行プログラム

みなまたから学ぶ

真実に向きあうチカラ

人によりそうココロ

磨くからこそ人は輝く

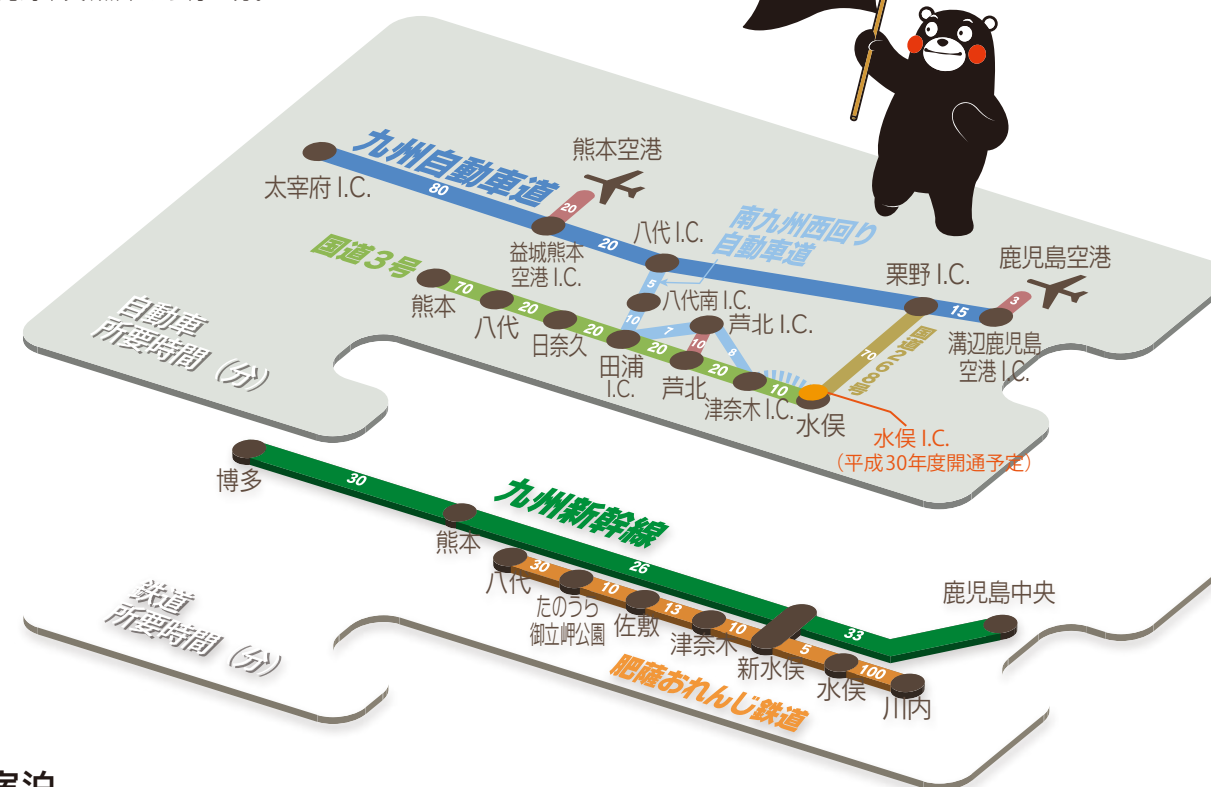
幸せに生きるため土台を創ろう

環境 自然
社会 人権

2018 年度改訂版

◎水俣・芦北地域へのアクセス

- ◆新幹線で新大阪から新水俣まで約3時間45分。
- ◆博多から約1時間。
- ◆鹿児島中央、熊本から約30分。



がんばるけん！

くまもとけん！

◎宿泊



◆湯の児 海と夕やけ

全室オーシャンビューの宿です。宿で水俣のごみ分別プログラムが体験できます。温泉は源泉かけ流しで不知火海に沈む夕日を望むことができます。

- 住所：水俣市湯の児温泉 ●肥薩おれんじ鉄道水俣駅より車で15分／新幹線新水俣駅より車で15分
- 最大受入人数／180～230名 ※120名以上で貸し切り可能
- ※宿泊人数が最大受入人数よりも多い場合は、湯の児温泉旅館が連携した分宿を行うことができます。詳細はお問合せください。



◆湯の児温泉 昇陽館

威風堂々と海へ広がる源泉かけ流しの露天風呂は、不知火の海を一望できます。

- 住所：水俣市湯の児温泉 ●肥薩おれんじ鉄道水俣駅より車で15分／新幹線新水俣駅より車で15分
- 最大受入人数／80～100名



◆御立岬マリンハウス

不知火海が一望できる御立岬にあるログハウスで20棟全てにお風呂、キッチン、トイレ等が常設されています。

- 住所：芦北町田浦町 ●田浦ICより車で15分
- 最大受入人数／20棟（1棟5～6名）
- 風呂・トイレ・キッチン・テレビ・エアコンつき

●教育旅行プログラム全般に関するお問合せ・・・

一般社団法人
環不知火プランニング
kanshiranui planning

TEL 0966-68-9450
FAX 050-3730-3585
<https://www.kanpla.jp>



- ◆発行者：熊本県／所属：地域振興課／発行年度：平成30年度
- ◆企画・制作：一般社団法人 環不知火プランニング

R70



本誌では環境保護のために、地球にやさしい「再生紙」と「植物油インキ」を使用しています。

このパンフレットは、熊本県の水俣・芦北地域振興計画に基づく水俣・芦北地域環境フィールドミュージアム事業で作成しました。

©2010 熊本県くまモン

みなまたから学ぶ

水俣は、身を挺するかのように、私たちに証言し続けます。

便利な道具に囲まれていながらも幸せを実感できない私たちが

幸せに生きるための、ヒントを提起し続けます。

日本人はもちろん、世界の人が知るべき歴史と真実があります。

正しい知識を持つ勇氣と

弱者の立場に立って考えるあたたかい心は、

気づきを得た者に夢と希望をもたらします。

「環境」を守ることは、「命」を守ること。

山の鐘

今も昔も空の青さに変わりはなく

今も昔も海の青さに変わりはなく

今も昔も山の緑さに^{あお}変わりはなく

今も昔も命の輝きに変わりはなく

この変わりなき宝を

この変わりなき命を

現在にそして未来にわたり

守りつづけよう

平成8年当時、
熊本県立水俣高等学校3年
長迫由紀子さんの詩



目次

01 ・みなまたから学ぶ
・フィールドパートナー
・山の鐘

03 世界と日本の課題を水俣から学ぶ
・水俣芦北での学びとは

05 学習後の感想

07 水俣の教訓から学ぶ
・エコパーク周辺フィールドワーク

09 水俣に聴くプログラム
・負の遺産を富の遺産に

11 環境で再生する水俣から学ぶ
・市民・行政・企業の取り組み
・環境センタープログラム
・エコタウン見学プログラム

13 海・山・里山に親しむ
・水俣・芦北の体験プログラム
・地域内のお勧め施設

15 モデルコース
実施行程例
教育旅行・研修・下見実施までの流れ
・食事・お土産

17 事前学習のための資料
主な受入実績
水俣・芦北地域体験マップ

FP

フィールドパートナー

フィールドパートナーは、水俣病によって地域が負った大きな傷と、そこから得た宝（教訓やのさり）を訪問者一人ひとりに日常で活かせる学びとして伝えるため、水俣の歴史と正面から向き合っています。

※ のさり 天から得た恵み。水俣では体験を経て得ることができたことごと。「勇氣」「覚悟」「魂」など。



世界と日本の課題を水俣から学ぶ

水俣は、私たちの心をうつす鏡です。

水俣で起きたことは、むかしはなしでも、ある遠いどこかでおきたことでもありません。現代日本に深く関わり「豊かさ」とはなにかなど、大人が答えを出せないことをあらわにしている場所です。水俣に住む私たちも全てを解決しきれいていませんが、大切なこと、重視すべきことは知っています。住民の案内や語りを聞き、真実を知ることができる貴重な場所です。

●心を育てるからこそ
知識は活かされる

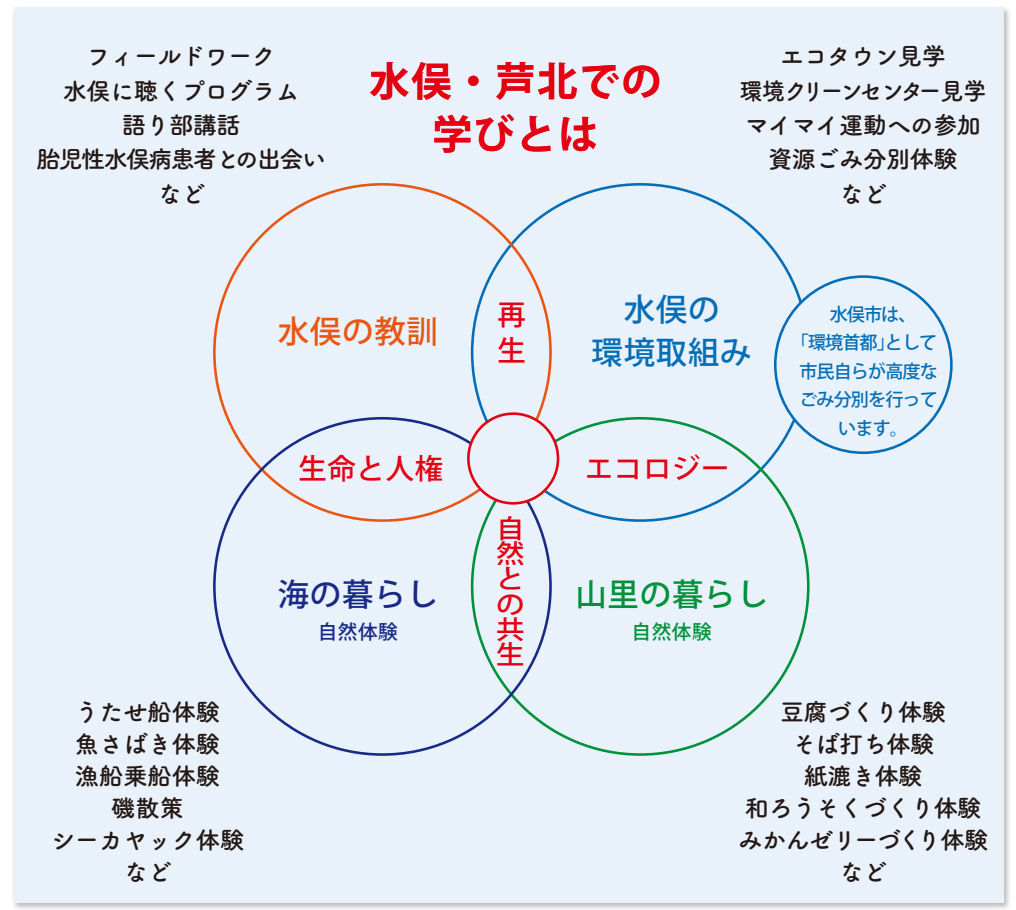
- ・「価値観づくり」人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、環境の尊重
- ・「体系的思考力」問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的なものの見方
- ・コミュニケーション能力
- ・リーダーシップの向上

●水俣から学びが生まれる様々なテーマ

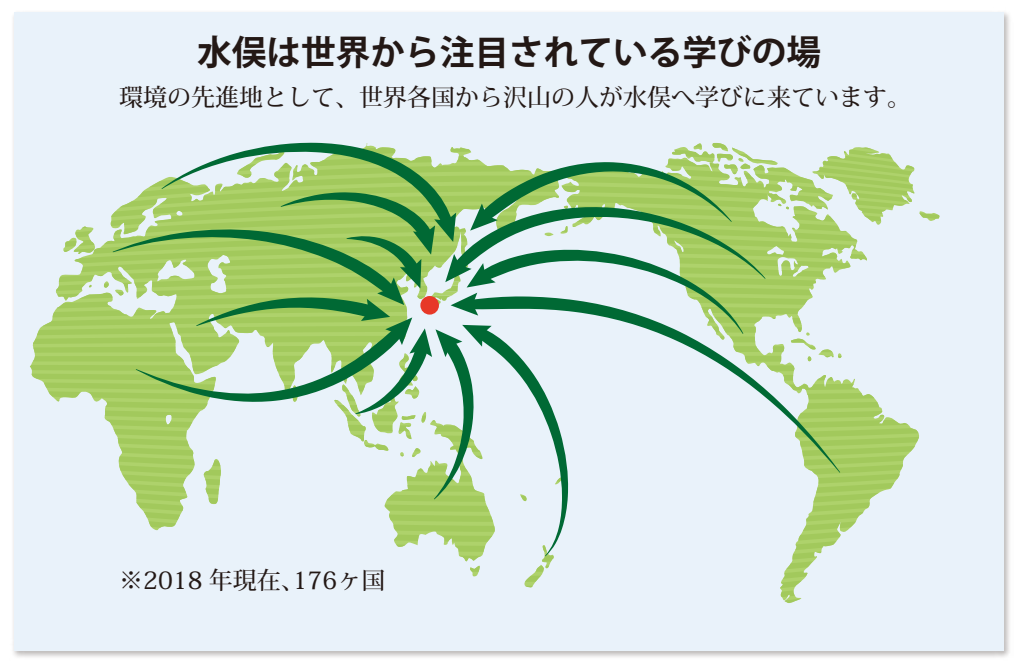
- 環境問題
- 経済問題
- 貧困問題
- 人権問題
- 社会問題

●自分の生き方、学校生活など
社会にアプローチ

- ・「タニンゴト」ではなく「ジブンゴト」へ生きる力を信じていることができる
- ・意見を表現し、自己実現の力を紡ぐ
- ・自らと地元を活かす力を得る



- 「水俣からの学び」をフォローします！
- 語り部DVDや視聴覚教材の貸し出し
 - 指導案・単元計画の事例紹介
 - 基礎学習のための教材の配布
 - 出張授業や教員研修 etc



教育旅行学習事例

●事前学習

水俣病に関する基礎知識を事前に習得することで、現地でより踏み込んだ探究活動を行えます。
※事前学習用の教材等は相談に応じて提供します！

●フィールドワーク（探究活動などのアクティブラーニング）

取り組む課題に応じて関連する施設を視察し、語り部・専門家等の話を聞きます。そして自分の言葉でその学びを表現し、共有するなどして学びを深めます。
※ひとりひとりの意見を引き出し、グループで学び合いをする学習のお手伝いもできます！

●自然体験（里山や海の力を感じる）

プログラムが豊富です。海・山の恵みを美味しく・楽しく体験できます！（P13、14参照）

●まとめ

現地で学んだことを共有化したり、文化祭等の場で発表し、新たな価値観や行動の創出に繋がります。

プログラム(例)



様々な分野で水俣病と向き合ってきた人たちの講話を聴きます。



現場を視察し“どうして水俣病が起きたのか”などを考えます。



何を感じ・学んだのかを自分のことばで表現し、みんなで共有します。



学習後の感想

※感想の一部を抜粋しています。

経済発展だけではなく環境を守ろう

水俣病患者とその家族も社会的な立場で差別されたりすることって大変で、福島原発のことも思い出した。水俣病の原因であるメチル水銀の排出に関しては、私たちには止めるような技術は無いけど、環境汚染をしないようにすることはできるから気をつけていこうと思った。経済発展も重要だけど発展のために環境を汚染したりするのは良くないと思った。水俣に起きた悲劇は、これからの環境問題に大きな影響を与えたことをすごく実感した。

（岡山県中学生）



苦しみの中から命の大切さを知る

水俣病であったことで出身地を誇りに思えなかったり、自分のことを他人に話せなかったりして苦しかったと思います。でも、私もその立場になると差別や偏見をもってしまいかもしれないです。自分の出身地にはなじみがあり良いところもあるのですが、私はどうしたらいいかわからなくなりました。でも坂本しのぶさんみたいに少しでも前向きになれるといいなと感じました。人の命の大切さをもっと深く考えたいです。

（福岡県中学生）

水俣からたくさん学びたい

一番に残ったのは、「水俣から何が生まれるかを予想することが面白い。いろいろな意見、考え、答えがでるからおもしろい。」です。1つのものからたくさんの答えが広がっていくと感じたからです。僕たちの住む水俣の歴史があったからこそ、今の水俣が創りあげられていく。たくさんさんのことを発見して、たくさんさんのことを学ぶことを大切にしていきたいです。

（水俣市中学生）



辛いだけではない生き方

水俣病患者の方々には辛い経験をたくさんされていてかわいそうという印象の方が大きかったのですが、必ずしもそうではないし、水俣病になったからこそ感じられる幸せがあるのだということを学びました。他方向からの考え方を知らねばと思いました。

（兵庫県高校生）

実践できる子どもを育てたい

あらためて「行動する」ことの大切さが分かりました。思うだけならいくらでもできるけれど、実際に行動するのはとても難しいことだと思います。しかし、一人では難しくてもいろいろな人、仲間と協力して行動していくことで変えていけるはずなので、今から自分の世界を広げていくことから始めてみようと思いました。また、教員になったときには知識をただ教えるのではなく、問題・課題を子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。

（福岡県大学生）

豊かさとは何か

私の祖父母が子どもの頃には「貧幸」（ひんこう）という言葉があったそうです。貧しくて困る「貧困」は避けたいが、貧しくても幸せな生き方、「貧幸」はできるという意味だそうです。こういった考え方が経済的な豊かさとはそれ以外の考え方を両立させ、一人ひとりに幸せをもたらす鍵かもしれない。チッソ工場に立ち去ってほしいとまで考える（時にはそう思うかもしれませんが）人はいないと思います。社会や企業の仕組みを変え、一人ひとりにゆたかさを保



相互理解と継続への努力

多くの社会問題で対立が生じる原因は、お互いに理解と信頼することができていないためだと思う。その意味で、もやい直しは成功した先例として学ぶことが多々あると感じた。最も印象に残ったのが、継続することの大切さだった。確かに、強いショックを受けると、あとから和らいでも記憶は残り続ける。我々も対話によってより良い対人関係を築けるように継続・努力すべきだと感じた。

（東京都高校生）

障るようになってほしいというのが本当の想いだと思っています。

（長崎県大学生）

水俣から創りだす未来へ

これからの日本にとって大切な要素が水俣にあると感じます。「きれいごと」だけでは語ることができない複雑な人間の葛藤がそこにはあり、今なお生きておられる人々がいる。一生懸命に生きている。だからこそ、同じ日本人として一緒に考えていくことができると考えています。まだまだ知らないこと、分からないことがたくさんあります。これからも学び続け、患者さんが最後に言っていた「将来の子どもたちのために、安全な社会づくり」を私たちは創っていかねばいけないと強く感じました。

（兵庫県小学校教員）



タニゴトではなくジブンゴトへ

子どもたちは、小学校でも学習してきているので「生物濃縮」や「メチル水銀」という言葉はよく知っています。水俣で起こったことをメインにすることがほとんどで、排水を止められなかったのは「なぜか」まで踏み込めていなかったなあと感じました。「もしも自分がチッソの会社員だったら」「もしも自分が漁師だったら」とさまざまな立場で想像力を働かせ、ロールプレイする、「自分事」としてとらえられるような授業づくりをしたくなりました。経済のことも含めて多様な見方をする経験が、子どもたちに「今」「これから」のことを考えることのできる力をつけさせるのではと感じました。

（熊本県中学校教員）



エコパーク周辺フィールドワーク

水俣の教訓から学ぶ

水俣市民と土地が語る水俣

01 フィールドパートナー

各クラスに1名以上のフィールドパートナーをつけることでゆかりの地で水俣からの学びをより深められます。水俣の過去と現在、地域との関わり、人と自然のつながりを一緒に考えましょう。



- ①水俣湾埋立地
- ②水俣・芦北地域
- ③フィールドパートナー 1人につき 1名～40名
- ④2～3 時間 ⑤年末年始

A 親水護岸



海と目の前の恋路島や不知火海の光景を見ながらフィールドワークを行います。

親水護岸は 1994 年3月に完成しました。かつては有機水銀を含む工場廃液が流され続けた水俣湾ですが、今は青い

B 慰霊セレモニー



※毎年5月1日、この地で水俣病犠牲者慰霊式が開かれています。

水俣病公式確認から50年目の2006年4月30日、水俣病慰霊碑が完成しました。水俣病で犠牲になった方々の魂を慰め、環境破壊による悲劇を二度と繰り返さないことを祈願して、セレモニーを行います。

C 魂石(たましいいし)



親水護岸にはたくさん魂石が並んでいます。これは、水俣病を通して生き方を問う団体、「本願の会」がそれぞれの想いを込めて彫りあげました。

D 百間(ひゃっけん)排水口遺構



百間排水口からは、1932年から政府が公害に認定する1968年まで、アセトアルデヒドの製造工程で副生されたメチル水銀化合物を含む排水が排出され、水俣湾へ流されました。

E 明神自然海岸



自然がほとんど手つかずのまま残り、多くの生き物が生息している海岸があります。カメノテやヒザラガイ、カニやビナなどが隠れています。

F 毛髪の水銀値を調べる

水俣病情報センター来館の3ヶ月前までに毛髪を送付し、魚介類摂取についてのアンケートに答えれば、来館時、毛髪水銀値データを受け取ることができます。

02 水俣市立水俣病資料館

水俣病の歴史と現状について理解を深め、水俣病の教訓を後世に残すためにつくられた。2016年4月に館内展示をリニューアルしました。水俣病の概要についてビデオ上映や年表パネル、写真などで説明しています。



- ①水俣病資料館
- ②水俣市明神町
- ③特になし
- ④開館時間／9:00～17:00(入館 16:30)
- ⑤月曜日(祝日の場合は翌日)

03 水俣病資料館語り部講話

水俣病患者や患者家族である「語り部」の方々からお話を聞くことができます。差別で苦しんだこと、あきらめずに闘ってきたこと、優しさに救われたこと。一人一人の貴重な体験には、多くのメッセージが含まれています。



- ①水俣病資料館語り部室、または水俣病情報センター講堂 ②水俣市明神町
- ③10名～100名(水俣病資料館)／101名～250名(水俣病情報センター 講堂)
- ④1時間(講話の時間帯) 10:30～11:30、13:30～14:30、15:00～16:00
- ⑤月曜日(祝日の場合は翌日)
- 来館される前月15日までにお申し込みください。

04 国立水俣病情報センター

水銀と人間との関わりや、科学的・医学的な面での水俣病を学ぶことができます。センターで収集した水俣病に関する資料を

05 水俣病歴史考証館



- ①国立水俣病情報センター
- ②水俣市明神町
- ③特になし
- ④開館時間／9:00～17:00(入館 16:30)
- ⑤月曜日(祝日の場合は翌日)

閲覧できる資料室、水俣病や水銀に関する研究成果や世界の水銀汚染に関する知識を得られる展示室を備えています。



- ①水俣病歴史考証館
- ②水俣市袋 ③1名～40名程度
- ④開館時間／9:00～17:00
- ⑤土日・祝日・年末年始
- 入館料大人 500 円／高校生 400 円／小中学生 300 円(税別・団体割引あり)

30余年間の活動を通して収集・検証した資料・実物を展示し、水俣病を伝えている民間の資料館です。水俣病における差別や偏見は、立場が変われば「差別される側にも、する側にもなり得る」という大きな課題も提起しています。職員による館内の説明も行っています。

●エコパーク水俣全景

水俣湾の水銀ヘドロを処理するため生まれた41.4haの埋立地には、運動公園やバラ園などがつくられ、水俣病や環境情報発信の基地として活用されています。



負の遺産を富の遺産に

水俣に聴くプログラム

く過去から未来を紡ぎだすためにく

水俣病は、チッソ水俣工場がメチル水銀を含む工場排水を海へ流し、それによって汚染された魚介類を人々が長い間たくさん食べたことにより引き起こされました。健康被害や環境汚染だけでなく、被害者への差別や住民同士の争いなど、様々な影響をもたらしました。



1968年に排水は止められ、その後、汚染された水俣湾は埋め立てられ、現在は海の水質については環境基準値を達成していますが、今なお水俣病の認定や補償を求める方々がおられます。一方で、人との関係などを修復しようとする「もやい直し」や水俣病の教訓を伝える活動など、水俣病を正面から受け止めようとするま

01 語り部、住民、行政職員等との出会い

さまざまな立場で水俣病と水俣に関わってきた人々の自宅や仕事場を訪問して、お話を聴きます。水俣病と闘い続けてきた水俣病患者、患者を支えてきた家族、漁師、ダイバー。水俣という地名と偏見差別に泣かされ、水俣出身だと言えなかった市民。他地域から水俣の価値を高く評価して移り住んできた人や市役所職員など。少人数ならではの交流ができます。



①講話者の自宅や職場、公的施設 ②水俣地域
③1名～10名の小グループに分かれて実施 ④1.5～2時間 ⑤年末年始

02 研究者、医師、ジャーナリスト等との出会い

水俣病の原因究明や患者救済にたずさわってきた研究者や医師、水俣病を事件として追求してきたジャーナリストなどから身近な距離でお話を聞くことができます。水俣病に付随した事柄をすでに理解しており、さらに深めたい方にお勧めするプログラムです。



①研究施設、公的施設 ②水俣地域
③1名～20名（施設により定員が異なります。お問合せください）
④1.5～2時間 ⑤年末年始

《聴くプログラム実施上の注意》

水俣の悲しい歴史にのっとって話しをされます。語り手に集中するようにご指導の上、実施に臨んでください。事前学習を行ったうえでこそ有効なプログラムです。質疑応答の進行については、グループごと運営していただきます。必要なホワイトボードは無償でお貸しいたします。事前学習などでお困りの際は、ご相談ください。左ページに事前学習の案内があります。

社会福祉法人さかえの杜

「ほっとはうす」

社会福祉法人さかえの杜「ほっとはうす」は、胎児性水俣病患者や障がいを持った方々が通いながら働く施設です。様々な教訓をもたらした水俣病を宝物として伝えており、「ほっとはうす」の方たちの温かい笑顔に生きる力と元気をもらうことができます。



03 胎児性水俣病患者等との出会い 1

「ほっとはうす」の活動を知る

04 胎児性水俣病患者等との出会い 2

「ほっとはうす」の活動を知り
協働作業を楽しむ



水俣病多発地区の1つ袋地区の小学生が作った「海のうた」。
うたの中には、海への愛が込められています。そのうたを患者さんたちと歌います。



患者さんたちが水俣の野の草花を摘み取り、1つ1つ丁寧に押し花にしています。その押し花で患者さんと協働で「しおりづくり」を行います。

①社会福祉法人さかえの杜「ほっとはうす」 ②水俣市浜町 ③1名～35名 ④2時間 ⑤日月・祝日・年末年始

05 出張講演、事前学習など 出前授業および研修（教員向け含む）

水俣でのフィールドワークをより深めるため、事前学習や出前講座を行うことができます。指導教員を対象とした研修もできます。学校の状況をお聞きして、校内教員ミーティングを開催したり、「水俣から学ぶとは何か？」という指導側の研修を学校に出張して行います。



①②指定場所 ③特になし ④60分、90分または120分 ⑤特になし ※旅費（実費）と規定謝金が必要

未来をつくる、
人をはぐくむ。環境省ESD
キャラクター「はぐくん」

環境で再生する水俣から学ぶ

◎市民・行政・企業の環境取り組み

01 ごみ分別から資源を考える

水俣では、市民が自分の手で20種類のごみ分別を行い、水俣の中学生は部活動を休みお手伝いをしている学校もあります。実際に水俣市民が行っている分別を体験して気づきを得ます。



- ①水俣市環境クリーンセンター
②水俣市築地
③1名～20名
④1時間
⑤土日・祝日・年末年始

02 環境クリーンセンターを訪ねる

水俣市が実施する資源ごみや燃やすごみの収集選別場所です。段ボールや新聞紙、アルミ缶やスチール缶などが処理される工程を見学します。燃やすごみの焼却炉も見学できます。



- ①～②水俣市1区～26区
③1名～20名
④30分～1時間
／各地区別時間にて受入
⑤金・土・年末年始

03 市民のごみ分別から学ぶ

水俣市内には約300カ所のごみステーションがあります。20種類のごみ分別に取り組む市民から、お話を聞くことができます。



- ①水俣市環境クリーンセンター
②水俣市築地
③1名～20名
④1時間～1時間30分
⑤土日・祝日・年末年始

04 マイマイ運動

マイ箸、マイ水筒、ごみの出ないお弁当などを食べるなど、ごみゼロ推進活動（通称マイマイ運動）に参加すれば市長名で活動証書の授与を受けることができます。※審査や活動確認が必要なため学校や旅行社からの申請はできません。



- ①打合せの上決定
②水俣地域
④20分

05 水俣エコハウス

熊本県産材を使用し、昔からの知恵と地域木材を使った次世代につなげられるエコハウスを見学できます。



- ①水俣エコハウス
②水俣市
③1名～10名
④1時間（10：00～16：00）
⑤月曜・年末年始

◎エコタウン見学プログラム

先進的な環境調和型のまちづくり推進を目的としたエコタウンが全国に多数ありますが、水俣は小規模ながら、市民参加型エコタウン事業として、工場案内が実施されています。



■エコタウン見学プログラム

- ①各工場 ②水俣市浜松町（⑫のみ水俣市月浦）
③1名～（定員は各社異なる） ④40分／9:30～15:15
⑤土日・祝日・年末年始

09 家電のリサイクル工場

各地で不要になった冷蔵庫、テレビ、エアコンなどは、水俣のこの工場に集められます。金属やプラスチックなどに分けられ、それを素材として再生産する工場へ提供されます。



- ①(株)水俣アスコン

08 アスファルトのリサイクル工場

コンクリートとアスファルトは破碎・選別後、コンクリートは路盤材へ、アスファルトは再生アスファルト合材として生まれ変わります。ここでは破碎の様子と、再生アスファルト合材の製造状況が見学できます。

- ①(株)水俣アスコン



- ①(株)環境総合技術センター

11 生ごみをリサイクルして野菜を作る工場

家庭や事業所から出る生ごみを回収し、乳酸菌を混ぜて臭いを抑えて発酵させ、乾燥して堆肥にしています。環境総合技術センターではその堆肥を使い、工場敷地内のビニールハウスで野菜や果物を栽培し、市場へ出荷しています。



- ①喜楽鋳業(株)
水俣エネルギー工房
③30名まで

12 し尿を肥料にする工場

水俣市芦北町津奈木町から収集されたし尿および浄化槽汚泥を微生物処理し、生成した汚泥を脱水乾燥し、肥料としてリサイクルしています。肥料は有機物やミネラル分が豊富で、特産物のサラダ玉ねぎやみかん栽培などに利用されています。



- ①(株)アール・ビー・エス
③20名まで

水俣市は、1992年に全国で初めて「環境モデル都市づくり宣言」を行い、ごみの高度分別（20分別）を行うとともに、水俣市独自のISO環境マネジメントシステムを構築して環境ISOを小・中学校や家庭等で広めるなど、官民協働で様々な環境政策に取り組んでいます。

また、リサイクル・リユースを進める企業が立地して「みなまたエコタウン」を形成しており、水俣市外地域の資源循環と同時に温室効果ガス削減の一翼も担っています。

これらの活動が評価され、2008年に国の「環境モデル都市」に認定され、2010年には全国で初めて「日本の環境首都」の称号を獲得しました。

こうした結果は、高い意識で多くの環境施策に関わってきた官民協働の活動と努力の積み重ねが、水俣市全体の力となり評価されたものです。

◎環境センタープログラム

希望に応じて、環境指導員によるレクチャーや環境に関するさまざまな体験学習が可能です。

06 熊本県環境センター

地球環境・熊本の水・循環型社会など環境問題についてより深い理解と正しい知識を得ることができます。



- ①熊本県環境センター
②水俣市明神町
③1名～200名
④開館時間 9:00～17:00（入館16:30）
⑤月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始

講義を中心とした環境学習

- 水環境問題
- ごみ問題
- 地球温暖化

ものづくりを交えた環境学習

- リ・ガラスアート
- UVストラップづくり
- 裂き織り

自然体験を通した環境学習

- 海の生き物観察
- ネイチャーゲーム



15 水俣の海を感じるシーカヤック 
①水俣湾周辺 ②水俣湾周辺 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

16 何でも炭焼き体験 
①古石交流館みどりの里 ②芦北町古石地区 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始

17 森の恵みを考える五右衛門風呂 
①古石交流館みどりの里 ②芦北町古石地区 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

18 薩摩街道佐敷宿を散策 
①薩摩街道佐敷宿 ②芦北町佐敷地区 ③3名～20名 ④1～2時間 ⑤年末年始

19 「水俣産」への思いとちくわづくり 
①木村蒲鉾店 ②水俣市桜井町 ③1名～15名 ④1.5時間／午後のみ ⑤年末年始

20 暮らしを考えるせっけんづくり 
①エコネットみなまた ②水俣市南福寺 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始

21 漁師から学ぶ魚さばき 
①水俣市南部もやい直しセンター おれんじ館 他
②水俣市月浦 他 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始

22 循環するガラスでリグラスアート 
①リグラス工房「びんの風」 ②肥薩おれんじ鉄道水俣駅内
③1名～5名 ④2時間 ⑤年末年始

23 山と海を考える無農薬釜炒り茶づくり 
①天野茶園 ②水俣市石飛 ③1名～20名 ④3時間 ⑤年末年始

24 自然素材で紙漉き 
①浮浪雲工房 ②水俣市袋 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

25 自然の色合い草木染め 
①浮浪雲工房 ②水俣市袋 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始
①農家民宿 縁 ②芦北町古石地区 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

26 水源のある森と棚田を散策 
①久木野ふるさとセンター愛林館 ②水俣市久木野地区
③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

◎ 地域内のお勧め施設

01 海を感じるマリン活動 
①熊本県立あしきた青少年の家 ②芦北町鶴木山
③3名～300名 ④2時間～ ⑤お問い合わせください

02 不知火海の恵みを知る塩づくり 
①御立岬温泉センター「塩むすび館」 ②芦北町田浦 ③1名～30名
④1時間弱／9:00～17:00 ⑤第2、第4水曜日（祝祭日の場合は翌日）

03 太陽と海のテーマパーク御立岬 
①御立岬公園 ②芦北町田浦 ③1名～200名 ④8:30～17:00
⑤第2、第4水曜日（祝祭日の場合は翌日）

04 つなぎ美術館 
①つなぎ美術館 ②津奈木町岩城 ③特になし ④10:00～17:00（入館16:30まで）
⑤水曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始

05 不知火海を望むモノレール 
①つなぎ美術館 ②津奈木町岩城 ③1名～8名（一回の乗車）
④1時間 ⑤水曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始

06 赤松館（せきしょうかん） 
①赤松館 ②芦北町田浦 ③特になし ④開館時間 10:00～16:00 開館日 土・日・月
●入館料 大人500円／中学生以下無料

◎ 水俣・芦北の体験プログラム

 食  創  海  動（散策 他）

01 不知火海うたせ船体験 
①計石漁港 ②芦北町 ③1名～36名（1隻の定員12名）④3時間
※乗船時間が短い場合、漁果が低くなる可能性があります。⑤12月～4月・年末年始

02 村人の案内で「村丸ごと生活博物館」を散策 
①-②水俣市頭石地区 ①-②水俣市大川地区 ①-②水俣市越小場地区 ③1名～40名
④2時間 ⑤年末年始

03 里山でつくる田舎料理 
①頭石交流センター ②水俣市頭石地区 ①大川公民館 ②水俣市大川地区
①越小場公民館 ②水俣市越小場地区
①大野構造改善センター ②芦北町大野地区 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始

04 里山でつくるおまんじゅう 
①大川公民館 ②水俣市大川地区
①古石交流館みどりの里 ②芦北町古石地区
③1名～10名（大川地区）1名～40名（古石地区）④2時間 ⑤年末年始

05 里山でつくる豆腐 
①久木野ふるさとセンター愛林館 ②水俣市久木野地区
③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

06 里山で育ったそばの実でそば打ち 
①久木野ふるさとセンター愛林館 ②水俣市久木野地区
③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

07 里山でつくるこんにゃく 
①久木野ふるさとセンター愛林館 ②水俣市久木野地区
③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

08 里山でつくるバウムクーヘン 
①久木野ふるさとセンター愛林館 ②水俣市久木野地区
③3名～20名 ④2時間 ⑤年末年始

09 収穫したみかんでゼリーづくり 
①湯の児スペイン村福田農場 ②水俣市湯の児台地
③1名～20名 ④2時間 ⑤10月～1月

10 水俣産「はぜ」で和ろうそくづくり 
①はぜのき館 ②水俣市侍 ③40名まで ④1時間30分
⑤月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始

11 里山でつくるピザ 
①古石交流館みどりの里 ②芦北町古石地区 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始

12 漁船でめぐる水俣湾 
①水俣湾 ②水俣湾 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始

13 水俣の海を感じる磯散策 
①水俣湾 ②水俣湾 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

14 水俣の海を感じるSUP（スタンドアップパドルボード） 
①水俣湾周辺 ②水俣湾周辺 ③1名～6名 ④1時間 ⑤年末年始



◎実施行程例		【凡例】 バス === JR ——— 船舶 ~~~
日次	A 案 ・ 行 程	宿泊・備考
1	九州新幹線 各地 ——— 新鳥栖 ——— 熊本 == 10：50 頃 11：10 頃 12：00 頃 == 阿蘇火山博物館（防災学習）や自然体験 == 阿蘇温泉 17：30	熊本 （阿蘇の司ピラパークホテル 他 宿泊）
2	阿蘇＝(九州道)＝ 水俣環境・人権学習（マイマイ運動・水俣病資料館・語り部・慰霊セレモニー）＝ 8：00 10：00 13：30 == 水俣・芦北（海、山、里山の自然体験 ※P11.12 参照）== 湯の児温泉 ※宿でフィールドワーク 14：00 17：00 17：30 ふりかえり	湯の児温泉 （海とタヤけ 他 宿泊）
3	湯の児温泉 == くまがわラフティング＝(九州道)＝ 熊本市内＝【熊本城・城彩苑】＝ 8：00 9：30 13：00 15：00 == 熊本 ——— 新鳥栖 ——— 各地 15：30 頃 16：00 頃 16：30 頃	※新幹線ダイヤについては確定 ではありません。ご確認ください。
日次	B 案 ・ 行 程	宿泊・備考
1	九州新幹線 各地 ——— 新水俣 == 昼食 マイマイ運動活動証書授与 == 11：30 頃 13：30 頃 ＝ 水俣環境・人権学習（水俣病資料館・語り部・慰霊セレモニー）＝ 湯の児温泉 ※宿でフィールドワーク 13：30 16：30 17：00 ふりかえり	湯の児温泉 （海とタヤけ 他 宿泊）
2	湯の児温泉 == 水俣（水俣に聴くプログラム）＝ 昼食（福田農場 パエリアづくり） 9：00 10：00 12：30 14：30 ＝ 出水【農業・家業体験】 ===== 出水泊 15：30 17：00	鹿児島県出水市 （民泊）
3	鹿児島 == 出水 == 知覧（平和学習と武家屋敷見学）＝ 鹿児島中央駅 ——— 新鳥栖 ——— 各地 8：00 8：30 11：00 16：00 17：00 頃	※新幹線ダイヤについては確定 ではありません。ご確認ください。

◎教育旅行・研修・下見実施までの流れ

1 環不知火プランニングへ電話での問い合わせ

2 メールによる内容のやりとり
・団体名、受入担当者連絡先・実施年月日と滞在時間
・学年や受入人数・希望するプログラム
・その他ご相談 など

3 行程と料金の確認
※実施可能かどうかの仮予約状態です。受け入れを確約するものではありませんのでご注意ください。

4 本予約書類の提出（ホームページからダウンロードできます）
※発注書類を提出いただき、環プラが本予約作業に入ります。

5 オプション（出張教員研修や事前学習の実施）
※有料です。お問合せください。

6 教育旅行・研修・下見の実施

◎環境に配慮した
お土産出張販売

水俣・芦北地域の人々が
こだわって作った安心で美
味しい商品を集めて宿泊先
へ出張販売に参ります。

◎こだわりのお土産

◎お土産・記念品

学校名を入れたお土産・
記念品を販売しています。

◎モデルコース

Aコース
半日
水俣・芦北地域

■水俣の教訓から学ぶ ※エクスカーショント型

昼食
※マイマイ運動授与式
12:00 13:00

▶

エコパーク周辺
フィールドワーク
●水俣病資料館
●親水護岸
■慰霊セレモニー
13:00 15:00

▶

水俣に聴くプログラム
グループワーク
※25名の講話者から選択
15:00 17:00

Bコース
1泊2日
水俣・芦北地域

■水俣の教訓から学ぶ ※エクスカーショント型

■環境で再生する水俣から学ぶ

■海・山・里山に親しむ

エコパーク周辺
フィールドワーク
●水俣病資料館
●語り部講話
●百間排水口遺構
9:00 12:00

▶

昼食
※マイマイ運動授与式
12:00 13:00

▶

エコタウン見学
●ガラスビン
リサイクル工場
●家電リサイクル工場
●し尿リサイクル工場
（1工場選択）
13:00 14:00

▶

海の体験
●うたせ船
●シーカヤック
●磯散策
●SUP
14:00 17:00

▶

湯の児
ホテル
※エコ泊
※学習ふりかえり
17:30

Cコース
1泊2日
水俣・芦北地域
＋出水（民泊）

1日目

■水俣の教訓から学ぶ ※エクスカーショント型

エコパーク周辺
フィールドワーク
●百間排水口遺構
●水俣病資料館
●親水護岸
■慰霊セレモニー
13:00 15:00

▶

水俣に聴くプログラム
グループワーク
※25名の
講話者から選択
15:00 17:00

▶

湯の児
ホテル
※エコ泊
※学習
ふりかえり
17:30

2日目

■海・山・里山に親しむ

里山の体験
●そば打ち
●バウムクーヘン
●和ろうそく
●草木染め ほか
※グループ体験
9:00 11:30

▶

昼食
※マイマイ運動授与式
12:00 13:00

▶

人吉
球磨川
ラフティング
14:00 16:30

◎環境に配慮した食事

◆湯の児スペイン村 福田農場 《マイマイ運動対象ランチ》

不知火海を望む素晴らしい眺望の中、地産地消、リユース、リサイクルにこだわる
レストランでパエリアなどのお食事が楽しめます。

●住所：水俣市湯の児台地 ●肥薩おれんじ鉄道水俣駅より車で15分／JR九州新幹線新水俣駅より車で15分
●入場無料／8:00～21:00 年中無休 ●最大受入人数／280名（パエリア体験は160名）

◆貝汁味処南里 《マイマイ運動対象ランチ》

熊本県産アサリと水俣産味噌や野菜とおいしい水を素材とした貝汁は薄味に仕立てて
あります。また、赤鶏を使ったわっぱめしは貝汁と共に看板メニューです。

●住所：水俣市袋 ●肥薩おれんじ鉄道水俣駅より車で10分／JR九州新幹線新水俣駅より車で20分
●10:00～22:00 年中無休 ●最大受入人数／60名（わっぱめしのお弁当は280個まで対応可能）
※わっぱめしのお弁当：蒸し器の「わっぱ」は回収し、リユースしています。20個以上の注文は配達可能（一部地域は有料配達）。

◆さるかに合掌亭 《マイマイ運動対象ランチ》

芦北のエビなど地産地消の食事処です。お母さんの味で海外の学生さんからも
喜ばれています。

●住所：芦北町芦北 ●芦北ICより車で3分 ●11:00～23:00 無休 ●最大受入人数／50名
●お弁当は200個まで対応可能

16

15

◎水俣・芦北地域体験マップ

水俣の教訓から学ぶ

- 01 フィールドパートナー
- A 親水護岸
 - B 慰霊セレモニー
 - C 魂石
 - D 百間排水口遺構
 - E 明神自然海岸
 - F 毛髪の水銀値を調べる

- 02 水俣市立水俣病資料館
- 03 水俣病資料館語り部講話
- 04 国立水俣病情報センター
- 05 水俣病歴史考証館

水俣に聴くプログラム

- 01 語り部、住民、行政職員等との出会い
- 02 研究者、医師、ジャーナリスト等との出会い
- 03 胎児性水俣病患者等との出会いー1
- 04 胎児性水俣病患者等との出会いー2

環境で再生する水俣から学ぶ

- 01 ごみ分別から資源を考える
- 02 環境クリーンセンターを訪ねる
- 03 市民のごみ分別から学ぶ
- 04 マイマイ運動
- 05 水俣エコハウス
- 06 熊本県環境センター
- 07 ガラスびんのリユース工場
- 08 アスファルトのリサイクル工場
- 09 家電のリサイクル工場
- 10 廃オイルのリサイクル工場
- 11 生ごみをリサイクルして野菜を作る工場
- 12 し尿を肥料にする工場

海・山・里山に親しむ

- 01 不知火海うたせ船体験
- 02 村人の案内で「村丸ごと生活博物館」を散策
- 03 里山でつくる田舎料理
- 04 里山でつくるおまんじゅう
- 05 里山でつくる豆腐
- 06 里山で育ったそばの実でそば打ち
- 07 里山でつくるこんにゃく
- 08 里山でつくるバウムクーヘン
- 09 収穫したみかんでゼリーづくり
- 10 水俣産はぜで和ろうそくづくり
- 11 里山でつくるピザ
- 12 漁船でめぐる水俣湾
- 13 水俣の海を感じる磯散策
- 14 水俣の海を感じる SUP
- 15 水俣の海を感じるシーカヤック
- 16 何でも炭焼き体験
- 17 森の恵みを考える五右衛門風呂
- 18 薩摩街道佐敷宿を散策
- 19 水俣産へへの思いとちくわづくり
- 20 暮らしを考えるせつけんづくり
- 21 漁師から学ぶ魚さばき
- 22 循環するガラスでリガラスアート
- 23 山と海を考える無農薬釜炒り茶づくり
- 24 自然素材で紙漉き
- 25 自然の色合い草木染め
- 26 水源のある森と棚田を散策

地域内のお勧め施設

- 01 海の素晴らしさを感じるマリン活動
- 02 不知火海の恵みを知る塩づくり
- 03 太陽と海のテーマパーク御立岬
- 04 つなぎ美術館
- 05 不知火海を望むモノレール
- 06 赤松館(せきしょうかん)



◎事前学習のための資料

■ ホームページ		
一般社団法人環不知火プランニング http://www.kanpla.jp/ 	●水俣フィールドワークの基礎学習および英語版 右記のページ(https://www.kanpla.jp/blank-17)より資料がダウンロードできます	教職員向け
	●水俣病と水俣地域の記事 http://minamata-info.cocolog-nifty.com/	一般向け
財団法人水俣病センター相思社 http://www.soshisha.org/ 	●水俣病入門 http://www.soshisha.org/nyumon/nyumon.htm	子ども向け
	●水俣病患者の概況 http://www.soshisha.org/kanja/kanja.htm	一般向け
水俣市立水俣病資料館 http://www.minamata195651.jp/ 	●水俣病略年表 http://www.soshisha.org/shiryoku/nenpyou/ryaku_nenpyou.html	一般向け
	●資料 http://www.minamata195651.jp/list.html	子ども向け
	水俣病とわたしたち(公害や環境を学習することもたちのために)	子ども向け
	水俣病Q&A	子ども向け
	こどもと学ぶ水俣病(水俣病のポイント学習)	子ども向け
	やってみよう!身近な環境づくり (水俣病を教訓とした水俣市の環境モデル都市づくりから)	子ども向け
	はじめて学ぶ水俣病(熊本県作成)	一般向け
	水俣病ーその歴史と教訓ー 2015 日本語版	一般向け
	水俣病ーその歴史と教訓ー 年表	一般向け
	新聞の見出しから見る水俣病	一般向け
熊本県 http://www.pref.kumamoto.jp/ 	水俣病10の知識	一般向け
	資料館リーフレット	一般向け
■ 資料の貸し出し	水俣市立水俣病資料館	一般向け
	●来館者ノート http://www.minamata195651.jp/impressions.html	一般向け
■ 販売書籍	熊本学園大学・水俣学ブックレット	一般向け
	熊本日新聞社 ※書店のほか、一般社団法人環不知火プランニング、財団法人水俣病センター相思社でも購入できます。	一般向け

◎主な受入実績 (2017年～2018年11月現在まで)

■ 小学校 教育旅行	日本工業大学駒場高等学校	世界宗教者平和会議日本委員会
新潟県立環境と人間のふれあい館	甲南女子高等学校	環境省環境問題史研修
■ 中学校 教育旅行	■ 大学 ゼミ・研修 他	千葉県習志野市議会環境常任委員会
東京都市大学等々力中学校	慶應大学環境情報学部	東京在住ご家族 4 名様
武庫川女子大学附属中学校	神奈川大学法学部東郷ゼミ	東武トップツアーズ横浜支店
芦屋学園中学校	龍谷大学農学部坂梨ゼミ(予定)	水俣フォーラム・岐阜展準備会
岡山市立京山中学校	福岡教育大学社会科教育講座	猪名川町人権・同和教育研究大会(予定)
岡山市立香和中学校	熊本大学教養講座	九州ビジターセンター研修会(予定)
宇部市地球温暖化ネットワーク	宮崎国際大学国際教養学部	五島市保健環境連合会
宗像市立中央中学校	■ 教職員 他	九州産交バスガイド研修
筑紫野市立二日市中学校	神戸市立小学校教員チーム	熊本市人権啓発市民協議会
筑紫野市立筑山中学校	神戸・チーム TAKENAKA	梅寿荘 4 班
筑紫野市立平野中学校	筑山中・二日市中合同フィールドワーク(予定)	霧島市老人クラブ連合会横川支部
大野城市立大田中学校	大牟田市教育委員会	霧島市隼人町宮内地区自治公民館
佐賀学園成瀬中学校	熊本県立鹿本農業高等学校 PTA	鹿屋市輝北地区町内会連絡協議会
鹿島市立東部中学校	上益城郡人権教育研修	琉球大学観光産業科学部観光科学科
熊本市立西原中学校	多良木町立多良木中学校	宜野座村村議会議員
合志市立西合志南中学校	芦北町学校人権教育研究大会	■ 海外
水俣市立袋中学校	ひまわりの会	韓国・浦項市役所
霧島市立陵南中学校	宗像地区「同和」教育研究集会	さくらサイエンスプラン水俣研修
■ 高等学校 教育旅行	学び塾 佐賀	National Chung-Cheng University(予定)
筑波大学附属駒場高等学校	■ 企業・自治体・環境団体 他	
神奈川学園高等学校	22 世紀に残すもの	※有料プログラムを実施した団体のみ掲載。
	㈱エックス都市研究所	※敬称は略させていただきます。